



あたらしい えほん



「だあれの め？」

accototo

(ふくだとしお

ふくだあきこ) / 著 文溪堂

対象年齢：1才から

出版年：2026年4月



「このめ だあれの め？」の問いかけでページをめくると、いろいろな動物たちが出てきます。だれの目かな？なにを見てるのかな？お子さんと「あてっこ」遊びも楽しいですね。親子のふれあいにぴったりな絵本です。(Eア)

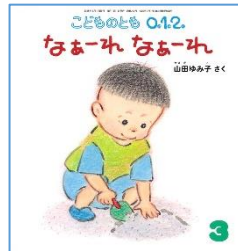
「なあーれ なあーれ」

山田ゆみ子 / 作

福音館書店

対象年齢：1才から

出版年：2026年3月



つみきをつんで「たくなあーれ」。おうちができたよ。でんしゃをならべて「ひとつになあーれ」。つながったら、しゅっぱーつ。「おさら、おさら、きれいになあーれ」。もぐもぐ食べて、きれいになったら「ごちそうさま」。つぎはどんなことができるかな？(Eヤ)

「おやつ できあがり」

彦坂有紀 もりといずみ / 作

福音館書店

対象年齢：2才から

出版年：2026年5月



ロールパンでなにを作ろう？バナナをはさんでチョコレートをかけたら「チョコバナナサンド」のできあがり！ほかにもおだんごやプリンアラモードなどいろいろなおやつができあがりますよ。食べたいのはどれ？(Eヒ)

「コット、はじめてのドライブ」

阿部結 / 著

佼成出版社

対象年齢：3才から

出版年：2026年3月



おとうさんと、はじめてのドライブに出かけたコット。通り雨や、はじめて見る湖から飛び立つ白鳥たち、そして山の向こうにしずむ夕日…。移りゆく景色をながめながら、おとうさんはコットに「変わっていくこと」と「変わらないこと」を教えてください。(Eア)

「それいけ、ヴォルフガング！」

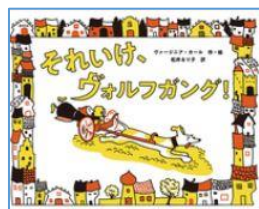
ヴァージニア・カール / 作・絵

松井るり子 / 訳

徳間書店

対象年齢：4才から

出版年：2026年3月



大きな犬のヴォルフガングは、飼い主のおばあさんの役に立ちたいと思いますが、何をやっても失敗ばかり。ある日、おばあさんと一緒にミルクを売りにいくこととなりますが、はりきるあまり、勢いよく飛び出したヴォルフガングは、ミルクを全部こぼしてしまったのです。(Eカ)



あたらしい えほん



「りおのおりがみ」

由美村嬉々／文
室井さと子／絵
あすなろ書房
対象年齢：5才から
出版年：2026年4月



はなばあちゃんは90才。りおのひいおばあちゃんです。庭にさく花の名前や折り紙をりおに教えてくれました。でも、認知症になってもうすぐ施設に行ってしまう。りおは教えてもらった折りづるを上手に折れるようになんども練習し、はなばあちゃんに渡そうと決めました。(Eム)

「ほんとうの よるを さがして」

マーシャ・ダイアン・アーノルド／文
スーザン・レーガン／絵
ひさやまいち／訳
評論社
対象年齢：6才から
出版年：2026年2月



夜の町は、どこもかしこも建物や車の光であふれています。眠れずに巣穴から出てきたキツネは、小さな虫と一緒に夜のくらやみをさがしにいきます。沼地や山などをさがし歩くうち、同じように困っている動物たちに出会い、みんなで海辺にやってくると…。(Eレ)

「のっぺらぼう

こわ〜い落語小泉八雲」

桂文我／文 長谷川義史／絵
BL出版
対象年齢：6才から
出版年：2026年5月



貸したお金を返してもらおうと夜道を急ぐ吉つあん。すると暗い堀のそばに若い娘が立っています。不思議に思って声をかけると、振り向いた娘の顔には目も口も鼻も…ない！小泉八雲の怪談「ムジナ」を元にした桂文我的落語「のっぺらぼう」が絵本になりました。(Eハ)



読みつがれている えほん



「たのしいなつ」

ロイス・レンスキー／作
さくまゆみこ／訳
あすなろ書房
対象年齢：3才から
出版年：2005年6月



楽しい夏がやってきました。兄妹2人はおままごとをしたり、プールでおよいだり、おひるねしたり…。何気ない子どもたちの夏の一日を切り取った、手のひらサイズの小さな絵本です。仲良く遊ぶ2人の楽しさが伝わってくるおはなしをお楽しみください。(Eレ)

「よるくま」

酒井駒子／作・絵
偕成社
対象年齢：3才から
出版年：1999年10月



夜中に男の子のところにやって来た小さなくまの子「よるくま」。目がさめたらお母さんがいなかったのです。男の子はよるくまのお母さんをさがしにいっしょに夜の町へと出かけます。はたして、お母さんを見つけられるのでしょうか。おやすみ前のひとときにぴったりなおはなしです。(Eサ)